

吉川育英会 発表

発表者：張萌

所属：福岡大学

2014年7月16日

自己紹介

- × 名前：張 萌
- × 学校：福岡大学
- × 専門：貿易論
- × 趣味：音楽、異文化交流
- × 夢：通訳者、教師になりたい





対外直接投資と多国籍 企業の理論

対外直接投資とは

- ✕ 直接投資（ちよくせつとうし）とは、外国の企業に対して、永続的な権益を取得する（経営を支配する）ことを目的に行われる投資（FDI-Foreign Direct Investment）である。配当や金利といったインカム・ゲイン、売却益といったキャピタル・ゲインを得ることを目的とした投資（間接投資）に対する概念である。
- ✕ 日本では、日本企業による海外の企業に対する直接投資を対外直接投資、海外の企業による日本企業に対する直接投資を対内直接投資（対日直接投資）という。
- ✕ 国際収支統計について定めたIMF国際収支マニュアルでは、直接投資は親会社が投資先の企業の普通株または議決権の10%以上を所有する場合、もしくはこれに相当する場合を直接投資であると定義している。

対外直接投資（FDI）の発展と概要

- × 産業資本主義段階では対外直接投資の中心国はイギリス。
- × 第二次世界大戦後，アメリカがFDIの圧倒的シェアを占めるに至る（「アメリカの時代」）。
- × 1970年代に入って，欧日のFDIが積極化し，先進諸国間の相互投資の様相が深まる（「相互浸透の時代」）。
- × 90年代には，アジア，とくに東，東南，南アジアへの先進諸国の関心が高まる。投資国として，先進諸国だけでなく，発展途上諸国も登場する。
- × 最近，先進諸国において巨大企業だけでなく，中小企業も積極的にFDIに乗り出したのである。



多国籍企業の論理

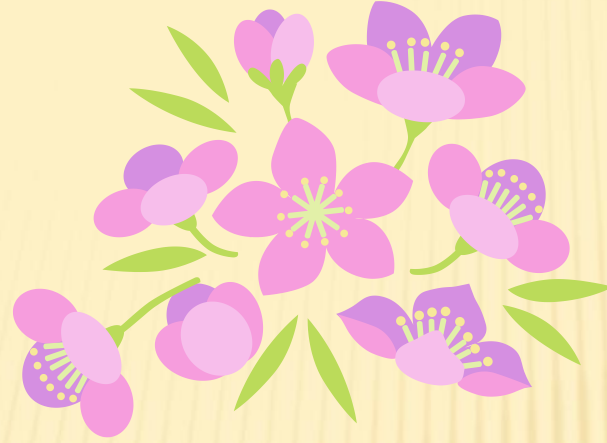
- × 企業が海外投資するのは、所有優位性、内部化優位性、立地優位性の三つの優位性が存在する場合 所有優位性
 - × 1. 所有優位性：企業の持つ競争力
 - × 2. 内部優位性：知識、経験、組織力
 - × 3. 立地優位性：低賃金労働力や優秀な人材、関税その他で守られた市場，当該企業の活動を支援する産業やサプライヤー，各種の社会資本，政府の投資支援や低税率など

	所有優位性	内部優位性	立地優位性
海外進出	○	○	○
輸出	○	○	×
ライセンス	○	×	×

今後研究の課題

在外子会社のコントロール方
式、多国籍企業の競争戦略の
変遷と組織対応、多国籍企業
の功罪





ご清聴ありがとうございました
うございまして